

静岡市監査委員会議記録

会議 令和6年度 第3回 監査委員定例協議会

開催日時 令和6年7月1日（月） 午前9時5分～午前11時00分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、寺澤 潤、稻葉 寛之
事務局長 萩原 健
書記 柴 秀和
山田 和誠、山田 裕 渡辺 篤史、蝦名 倫代
宇佐美亜希、神山 悟、谷 梓
青野 洋平、山本 和延、齋藤 升美

会議内容

- 1 開会宣言 柴次長
- 2 例月現金出納検査等（5月分）

（1）説明者等

- ア 各種会計 宇佐美係長（監査第2係）
- イ 病院事業会計 山田次長補佐（監査第1係）
- ウ 簡易水道事業会計 山田次長補佐（監査第1係）
- エ 水道事業会計 青野係長（監査第3係）
- オ 下水道事業会計 宇佐美係長（監査第2係）
- カ 農業集落排水事業会計 青野係長（監査第3係）

（2）発言等

ア 各種会計

（白鳥委員）

7ページの今回歳出で抽出した労働費の本月分の支出額がマイナスになっており、明細を見ると勤労者福祉センター指定管理料がマイナスになっているが、どういった事項があったのか。

（事務局）

指定管理料の精算に伴う返還があったためである。

（遠藤代表）

8ページの競輪事業会計も今月分の支出がマイナスになっているが、なぜか。

（事務局）

競輪開催業務委託料の精算に伴う返還があったためである。

（白鳥委員）

出納整理期間が終わり、令和5年度分の現金が全て令和6年度5月分の出納調書に移つて、令和6年度5月分の合計額が5月末現在の残高であるという理解でよいのか。例えば、令和5年度5月分の電気事業経営記念基金会計の差引残高 99,367 円が、10 ページの令和6年度5月分電気事業経営記念基金会計の本月分収入 99,367 円に入っているということか。母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計の場合は、令和5年度5月分の収支残高は3億2,300 万円あり、10 ページの令和6年度5月分本月分収入は3億3,200 万円となっているが、この中に繰越額の3億2,300 万円と令和6年度の5月に発生した収入が含まれているという見方をすればよいのか。

(事務局)

そのとおりである。

(寺澤委員)

7 ページで分担金及び負担金が前年同月比マイナス 41.4% となっているのはなぜか。

(事務局)

こども園・保育所費負担金が前年同月から約2億2,500 万円減少、住宅建設費が約7,200 万円減少していることが大きな原因となっている。こども園・保育所費負担金は第2子保育料が令和5年4月から無料となったことに伴い減少しているようである。

(寺澤委員)

県支出金も減っているが理由はなにか。

(事務局)

こども園保育所補助金が減少したためである。

(稻葉委員)

市債が前年同月比 50% 増加しているのはなぜか。

(事務局)

道路橋りょう債が増加しているということで、令和5年11月に特別会計の公債管理事業会計で一旦収入していた市債を5月にこちらの市債へ収入金更正したという収入金の動きがあり、昨年度はそのような動きがなかったため、増加した。

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

1 ページ試算表の未払消費税の貸方残高が約240 万円となっているが、納付はしたのか。また、3 ページ支出予算執行説明書で、当月執行額の振替欄の仮払消費税が約760 万円となっているが、1 ページ試算表の借方に計上されているのか。

(事務局)

未払消費税については、6月30日までに納付済みとのことである。仮払消費税については、貯蔵品の消費税に該当するもので、1 ページ試算表の仮払消費税の借方3,849 万円の中に含まれている。

(白鳥委員)

1 ページ試算表のリース資産の借方に約8,800 万円が計上されているが、どのような設備か。

(事務局)

清水病院医療情報システム LAN 設備等賃貸借業務で、電子カルテ等の安定稼働のため

老朽化したＬＡＮ設備等の更新や新たな電子問診システムを導入するものである。

ウ 簡易水道事業会計

(遠藤代表)

令和5年度の決算見込みの表を見ると、令和4年度と比較して令和5年度の純利益は800万円ほどの増となっており、改善しているように見受けられるが、一般会計からの補助金は増えている状況である。企業会計として会計処理を行ったときに、純利益を増やしておかないと現金が不足してしまう。そのため、収支は好転しているように見えるが、一般会計からの補助金の金額は増えたという解釈でよいか。

(事務局)

そのとおりである。

エ 水道事業会計

5月分例月現金出納検査の説明後、上下水道経理課から、令和5年度決算整理で固定資産の耐用年数を修正したことに伴い、例月出納検査調書の試算表のうち、次の金額に修正が生じたことについての報告があった。

- ・3月分の例月現金出納検査調書

資産勘定 建物、構築物並びに機械及び装置に係る減価償却累計額

損益勘定 減価償却費

- ・4月分の例月現金出納検査調書

資産勘定 建物、構築物並びに機械及び装置に係る減価償却累計額

資本勘定 利益剰余金

(白鳥委員)

減価償却に関する修正は、何年に取得した固定資産についてのものなのか。

(上下水道経理課)

令和4年度に取得したものであり、令和5年度から減価償却が開始された。

(白鳥委員)

当初より耐用年数が短くなったということか。

(上下水道経理課)

耐用年数が伸びたのが2件、短くなったものが33件、合わせて35件修正した。

(白鳥委員)

なぜそのようなことが起こったのか。

(上下水道経理課)

システムに耐用年数を入力したエクセルファイルを取り込んで登録するが、エクセルファイル内の耐用年数欄の数式が列ずれを起こしていた。確認不足により一部の固定資産について誤った耐用年数を登録してしまった。

(白鳥委員)

どのようにして判明したのか。

(上下水道経理課)

令和5年度の決算整理をする中で、想定している減価償却費とそれが生じていたため、登録内容を確認したところ判明した。

(遠藤代表)

エクセルファイル内で数式の列ずれを起こしていたということだが、担当者は数式を組むときは念入りにチェックを行うものの、その後は数式が正しいことを前提に処理を進めることが多い。入力するのは人であるため、読み合わせを行うなど丁寧にやってもらいたい。

また、この修正は令和5年度決算に反映されているということでしょうか。

(上下水道経理課)

そのとおりである。

(寺澤委員)

営業未収金や過年度未収金が多いように感じるが、これらはどのようなものか。

(上下水道経理課)

水道料金は、検針を行い歳入調定してから収納までにタイムラグがあるため、調定した時点で一旦営業未収金に計上される。利用者の支払いがなされると、その分の金額が未収金から消える。

過年度未収金は、令和5年度以前に歳入調定したものであり、まだ収納がないものである。

才 下水道事業会計

5月分例月現金出納検査の説明後、上下水道経理課から、4月分例月現金出納検査調書の予算執行表において、国庫（県）補助金の予算現額に係る修正について報告があった。

(白鳥委員)

再発防止策として、財務会計システムから出力した予算執行表と何を突合するのか。

(上下水道経理課)

各課から提出された繰越予算額の資料と財務会計システムに登録された繰越予算額を突合していく。

(白鳥委員)

4月22日は、「入力した画面を印刷したもの」と何を確認したのか。

(上下水道経理課)

入力した画面と各課から提出された繰越予算額の資料を確認した。しかし、システムに入力した後に更新ボタンを押し忘れたため、システムに反映されなかった。

(白鳥委員)

システムが更新されたことを確認するために、システムから出力した予算執行表を確認するという統制を加えるという理解でよいか。

(上下水道経理課)

そのとおりである。

(稻葉委員)

システムで機械的にチェックできるように改良することは可能なのか。

(上下水道経理課)

現行のシステムにもケアレスミスを防ぐための細かな更新をしているが、全てのミスを防ぐことができない。今後、AI機能等を備えたシステムそのものの更新を考えていかなければならぬ。

(遠藤代表)

昨年の流用の問題では、誤った流用ができないようにすぐにシステムを更新して対応した例もあり、先日の議会では市長が職員の仕事量が多くなっているのでDXによって減らしていくと発言しているので、次にシステムを替えるときには、ある程度機械でチェックできるようにお願いしたい。また、こういった事例はワードやエクセルなど他でも起こり得ることなので、何か修正をしたら、必ず登録してその後もう一度出力して読み合わせをすることの徹底をお願いしたい。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第8号 令和6年度出資団体監査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第9号 令和6年度財政援助団体監査実施計画の策定について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第10号 令和6年度指定管理者監査実施計画の策定について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第11号 令和6年度学校監査実施計画の策定について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第4号 内部統制の不備に関する報告（令和6年5月分）について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

(白鳥委員)

令和5年度の内部統制評価報告書に記載されているものと、記載されていないものがあるとの説明があったが、もう一度教えてほしい。

(事務局)

今回報告の5件のうち、4件目の遠距離通学補助に係る誤ったお知らせによる損害の発生については、令和5年度の内部統制評価報告書に記載されており、そのほかの4件は、令和6年度内部統制評価報告書において、内部統制上の不備として評価される見込みである。

イ 報第5号 令和6年度包括外部監査の実施について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

ウ 報第6号 指導事項に対する対応状況（定期監査）について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和6年度第2回定例協議会議事録の公表について・・・・山田次長補佐が説明

イ 7月・8月の日程について・・・・・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長